

嬉しかったこと4

今回の「嬉しかったこと」は、11月26日（火）に行われた人権講演会での出来事です。今回は、「被爆ピアノコンサート」ということで、広島で原爆投下の際に、被爆したピアノを修復した矢川さん（矢川ピアノ工房代表取締役）が、平和の大切さを訴えるために自らトラックを運転し、北は北海道から南は沖縄まで全国各地で行われている活動（ご自身は「平和の種まき」と仰っていました。）についてのお話と、そのピアノを使ったピアニストの演奏とソプラノ歌手の歌声を聞かせてもらいました。被爆ピアノに寄せた平和への思いや、ピアノの音色、さらに朗読や平和や命の大切さを訴える心に響く歌声に、生徒たちが平和の大切さについて考えることができる内容でした。

講演会後に、演奏して頂いたお二人と校長室でお話をさせて頂いたのですが、「大蔵中学校の生徒さんは、体育館へ移動する際にも私語なく整然としているところ、さらに講演会中の聴く姿勢の良さは、全国多くの学校に行かせて頂いていますが、これだけの学校はなかなかありません。演奏する側としても、とても演奏しやすく、さらに気持ちを込めることができました。」とお話して頂きました。

さらに、生徒会長が、11月24日に広島を訪れられたローマ法王の話も含めた平和への力強い決意とお礼のあいさつにも、その素晴らしさに驚いておられました。私も本当にすごいなあと感心しました。

なお、矢川さんをモデルとして映画化された「おかあさんの被爆ピアノ」が来年公開されます。ご興味のある方は是非映画館に足をお運び下さい。

自校の生徒が褒められるのは本当に嬉しいことです。講演・演奏内容と合わせ、とても有意義な時間を過ごすことができたと感じています。簡単なようで難しいのですが、今後も「当たり前が当たり前ができる」学校づくりに努めてまいります。

